

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスまはろ朝霞台		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 21日		～ 令和8年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者対応や、サービス提供記録の充実を目指している。	どのような支援・声かけを行い、どのようなことができたのかという点を共有できるように意識している。	よりの確に伝えられるよう、保護者・児童のニーズを捉え、同じ方向を向いた支援を目指していく。
2	課題内容を日々工夫し、目標を設定しながら活動している。	課題の内容は毎日違うものになるように工夫する中で、児童に対するねらい・目標の軸をブレさせないことを意識し、色々な体験の中の日々の積み重ねを目指している。	児童に対するねらい・目標を明確にし、スタッフ間で共通した支援ができるようにミーティングを充実させる。
3	スタッフ間で情報共有や相談がしやすい環境が叶えられている。	スタッフがお互いを信頼し、尊重する風土が根付いている。一人で支援に当たるのではなく、チームプレイの大切さを共有したり、目標を定めたりすることで、支援がバラバラにならないようにしている。	もし上手くいかないと感じることがあっても「失敗」という結果にせず、工夫して行った支援のフィードバックを丁寧に行うことで、色々なことに挑戦しより良い支援を考えようというモチベーションを作り上げる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の整備が不十分。	心理的・視覚的に部屋を区切る手段が少なく、活動によって場所を分けることができておらず、環境が構造化されていない。また、経年劣化も含め設備整備も不十分。	空間を区切る手段を考え、場合によっては用具を購入し取り入れていく。また、場所だけでなく時間の区切りも明確にしていく。
2	保護者同士の交流の機会提供が不十分。	保護者会の開催が少ない。 (参加希望者数により中止となったこともある)	保護者が参加しやすい日程や、議題の設定を考える。また、保護者の意向を確認していく。
3	地域交流が不十分。	地域のイベントへの参加や、外出課題などが少ない。	地域連携を視野に、外出課題の機会や、交流の機会を増やしていくことを検討。